

ちーぼ 手作り・手描き 作品募集!



茅野市子ども会育成連絡協議会のマスコットキャラクター「ちーぼ」の手作り・手描き作品を募集します。ぬいぐるみ、ねんど細工、焼き物、イラスト、など手作り・手描きならなんでも構いません。みなさんの子ども会の行事の一つに「ちーぼづくり」を取り入れてみていいですよ!

優秀作品については、記念品をご用意するとともに、事務局窓口(市役所6階)に飾らせていただきます。ふるってご応募をお願いいたします。

応募締め切り 平成24年11月30日(金)
作品応募先 下記事務局(こども課こども係)までお届けください。

※ご応募いただいた方全員に参加賞をご用意いたします。
優秀作品の発表は茅子連だよりにておこないます。
※ご応募いただいた作品につきましては、基本的に返品いたしません。返品をご希望の方は出品時に事務局にお伝えください。

「ちーぼ」の手作り作品例

～ちーぼ達のつばやき～



お知らせ:

「茅子連だより」の内容、または「子ども会育成会」について皆さんの意見をお寄せ下さい。寄せられた意見は次号以降で紹介していきながら、一緒に考えたいと思います。また、各地区、単位育成会での活動などで茅子連だよりに掲載、取材を希望する題材などがありましたら、ご連絡をお願いします。

連絡先:

茅子連広報部事務局 【事務局が、市役所内で名称と場所が変わりましたのでご注意ください。】
〒391-8501 茅野市塚原二丁目6番1号 茅野市役所6階 こども部 こども課 こども係
TEL:72-2101 内線 312・313 FAX:73-9843 E-mail kodomoka@city.chino.lg.jp

ち こ れ ん

茅子連 だより



茅野市子ども会育成連絡協議会研修会 (4月)



ジュニアリーダー養成コース開講式 (5月)

茅野市子ども会育成連絡協議会

発行 平成24年4月1日

第45号

編集 広報部

※「茅子連」は茅野市子ども会育成連絡協議会の略称です※



関東甲信越静岡地区子ども会育成研究協議会 (10月)



長峰子ども会出前サポート (6月～7月)



茅野市少年リーダー育成研修会 (8月)



親子自然体験学習会 (10月)



茅野市子ども会育成連絡協議会理事会 (11月)



ジュニアリーダー養成コース閉講式 (12月)

「子どもが主役の子ども会」を考える

茅野市子ども会育成連絡協議会（茅子連）はたくましくやさしく夢を持ち、生き抜く子どもたちを育成するため「子どもが主役の子ども会」を育てる団体であり、地区子ども会育成会・単位子ども会育成会にこの理念を浸透させ、実現するために活動しています。



子ども会とは？

「子ども会」とは、就学前3年の幼児から高校年齢相当までを対象とする、地域を基盤とした異年齢集団です。年齢の異なる子ども同士が、自主的・主体的に様々な体験をすることで、真の友達作りや生きる尊さを学ぶことを目指しています。

Why?

なぜ「子ども会」が必要か？

地域の子どもの対象にするので、未就学児だけ・小学生だけという限られた集団ではなく、もっと幅のある子どもたちの集団になります。地域にいる大人との係わりができることによって、人として必要なコミュニケーション力を育てる機会が多くなり、様々な体験の出来る環境が増えることとなります。



What?

何が必要か？

地域の役員さんや保護者の方をはじめ、大人の地道な努力と協力が不可欠。子どもの数が少ないことで「子ども会」なんてできないと思われがちですが、集まった子どもの人数ではなく、子どもが何をするか・子どもがどうしたいかを考え実行できる集団を育てていくことが必要です。

How?

どのようにすれば？

既存の行事に「子ども会」を参加させてみては？地区の事情にあった係わり方で、子どもが自ら企画実行できる場を提供してください。そういう活動を応援するための補助金制度の活用や、子どもに企画段階からどう参加させるか模索中の役員の方にはシニアリーダー（CLCのOB・OG）がお手伝いします。そのうえ役員さんが複数年任期で係わっていただければこんなに心強いことはありません。

CLCの育成

CLCとは…「子どもが主役の子ども会」の実践集団として、市内の子どものリーダーとして、また地域の子どもの指導者となるべく、主催事業の企画・運営・野外体験・レクリエーションをはじめ、他団体のイベントへの参加・協力を積極的に行っています。

茅野市リーダークラブ（CLC）を育成・支援することで、CLCのような集団（＝「子ども会」）が市内各地域に育ってくれることを願っています。



CLC組織体系図



「子どもが主役の子ども会」を推進する

CLCシニアリーダーによる子ども会出前サポート

◆出前サポートとは？

「子どもが主役の子ども会」と言っても、どうすればいいかわからない」といった子ども会役員さん方のために、CLCのOB・OGであるシニアリーダーが、地域の子どもの会にお邪魔し、子ども会役員さんと相談しながら、子ども達が行事の企画段階から参加できるようにサポートしていきます。

子ども達の会議の進行の仕方、子どもとの関わり方、大人の心構えなどを一緒に考えていきます。いずれ地域の子どもの会が、「子どもが主役」となって運営できるような土台作りをお手伝いします。



今後は色々な子ども会へと広げていければと思っています。

◆サポート対象

現在、『子ども会行事の準備や企画をすべて大人の役員さんがやっていて、子ども達は行事に参加するだけ…』という子ども会を対象とします。

◆サポートの内容はどんなこと？

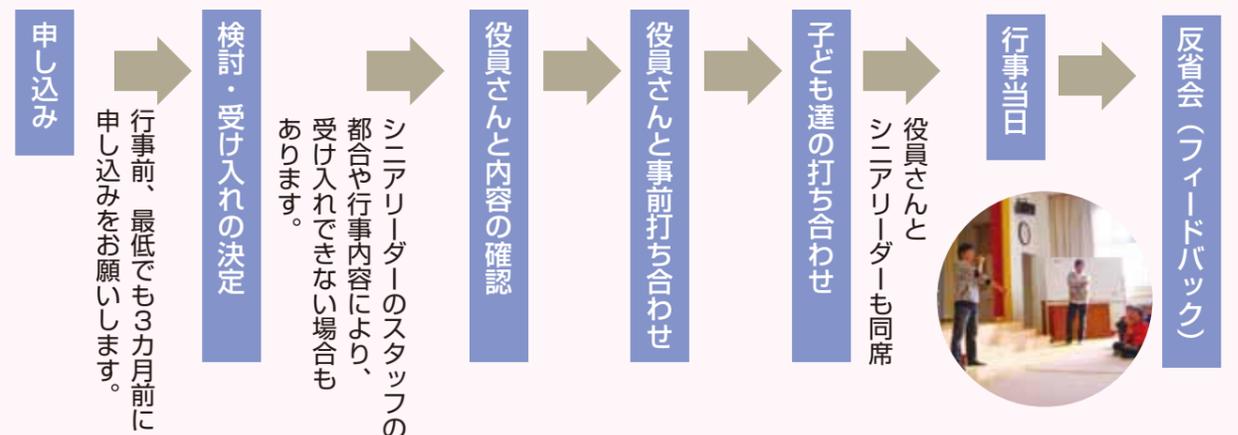
- 子ども達が行う行事の打ち合わせのサポートをします。
- 子どもと役員とのパイプ役になります。
- 大人の役員さん方に、子ども達との関わり方のアドバイスをします。

出前サポートの目指すところは…

- 司会、進行ができるようになる。
- 自分から進んで準備、片づけができるようになる。
- ゲームなど前に立ってできるようになる。



◆当日までの流れ



◆出前サポート申込み方法

子ども会出前サポート申込書	
子ども会主催での行事の企画・運営をサポートします。子どもの日常生活のサポート、大人の関わり方の提案などを行います。	
地区名	〇〇地区
申込者名	茅野市子会
電話番号	72-2101
企画名	クリスマス会
企画内容	レクリエーション ゲーム作り プレゼント交換
実施場所	〇〇公民館
日時	平成24年12月18日(金)午後10時から 平成24年12月19日(土)午後10時から
子ども会について	
子どもの人数	63名
内訳	
6年生	10名
5年生	12名
4年生	9名
3年生	8名
2年生	10名
1年生	9名
中学生以上	5名
スタッフ 希望する人数	シニアやCLCにゲームをやりたい 子ども達にゲームを教えてほしい 準備や買い出し子ども達にやらせてみたい。
その他・備考欄	

出前サポート申込書記入例

● **申込書**
申込書は、事務局（市役所こども課）、市役所ホームページから入手できます。

● **申込書の提出先**
茅野市子ども会育成連絡協議会事務局（市役所こども課）



子ども会を「子どもが主役」にしたいという役員さんは、ぜひ申し込んでね！



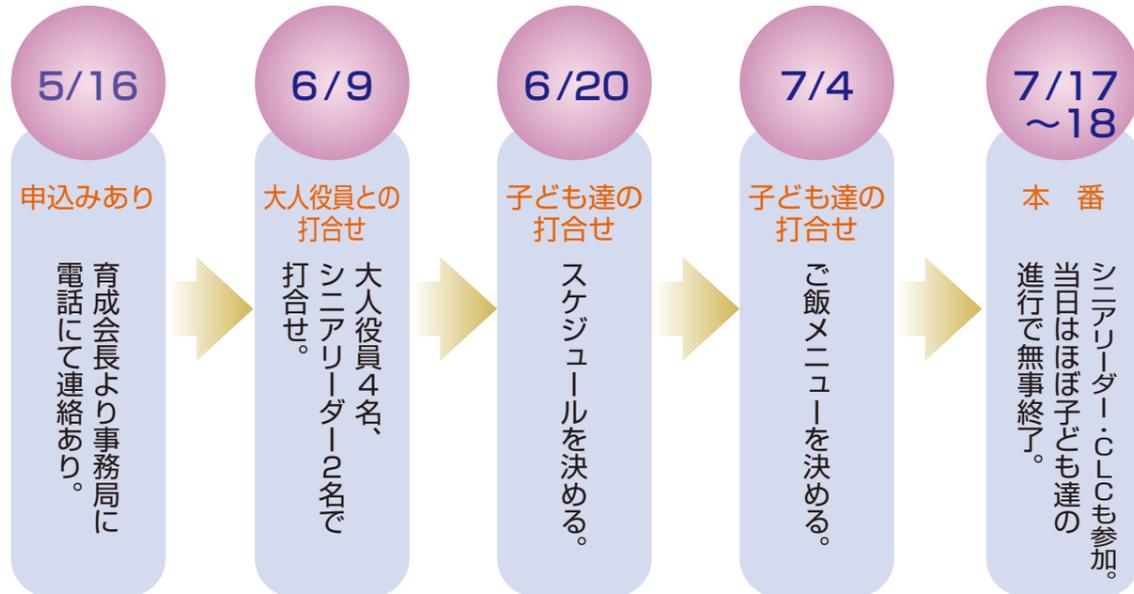
◆出前サポート実例 実際の流れの説明

長峰子ども会 震災対策と姉妹都市交流



シニアリーダー
山田 明宏

今回初めての試みでしたが、子ども達から、また来年も自分達で計画・運営をしてみたいと声が上がります、嬉しく思います。



◆CLC(中高生)による出前講座も実施しています！



CLCが子ども会行事にお邪魔し、レクリエーションを行ったり、行事のお手伝いをします。大勢の人の前に立ってレクリエーションを進行する姿を見て、子ども達がCLCのようになりたいと思えるような活動をしています。

「うち子ども会にもCLCに来て欲しい」という場合には、事務局までご連絡ください。

茅子連から情報発信 他市の実情にも触れる機会に

関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会分科会で活動発表

10月16日、CLCの高校生2人が提案者となり「茅野市リーダースクラブ（CLC）の活動」について発表をし、ジュニアリーダーの「活動継承」と「地域子ども会へのひろがり」について提案しました。

発表の中で、CLCで活動する子ども達の声としては「人見知り改善された」「企画の立案、実行、反省 ぜんぶ楽しい」「友達ができた」「色々なイベントで、今までできなかったことが出来てよかった」などがあげられていました。CLCは“人としても成長できる場”になっていると、子ども達自身も感じているようです。そして質疑応答では、活動を支援してくれる事務局や大人たちのありがたみを感じながらも、助言は押し付けではなく選択肢の一つになるような助言にしてほしいとの胸の内を語ってくれました。



グループ討議では、この分科会に参加された皆さんからこんなご意見をお聞きすることができました。

協議1. ジュニアリーダーなどの活動を継承していくのに大切なこと、工夫。そして、苦労していること。

協議2. 「子どもが主役の子ども会」を地域に広げていくのに大切なこと、工夫、必要だと思う活動。

【ジュニアリーダーの立ち上げ】

- 保護者が何人か集まって、色々なところに顔を売って立ち上げたところもある。ジュニアリーダーは育成会と別組織であり活動予算がなかったりする。(静岡県)
- ジュニアリーダーの原点を知っているシニアや役員が企画して子ども達を集める。(神奈川県)

【ジュニアリーダーの現状と課題】

- ジュニアリーダーはあるものの、月一回の定例会で集まりは悪い。リーダー研修で、ジュニアが必ず班に入るのでリーダーにあこがれる参加者もいる。反省会のときにジュニアリーダーへの参加を呼びかける。(栃木市)
- 活動を支援する団体がなく、資金も不足している。
- 親のサポート・理解がないと子どもが活動に参加できない。

【ジュニアリーダー以外の子ども会での工夫や課題】

- 子どもに行事のおたよりを作成させる。(手書きでイラスト入り)
- 子ども達に企画させ大人(役員)が必要なものを手配するという工程が定着している。
- PTA=育成会となってしまうと活動が「小学生」で終わってしまう。
- 中学生も選ばれてリーダー研修に行くが、それを活かす所がない。



様々な課題や工夫の仕方、どれもこれも共感することばかり。「地域子ども会」を考えたときにも同様な試練や達成感があるのだと思いますが、まずは「子どもが主役の子ども会」の普及をめざして大人が地道な努力を続けることが大事です。

子ども会育成会

各単位で一年間お勤めになられた育成会長さんにアンケートをお書きいただきました。その一部をご紹介します。

アンケートの中から◆◆◆

Q1

「子どもが主役の子ども会」に向けて取り組んでいることは？ また、「子どもが主役の子ども会」について思うことは？

A 1

●各行事の内容決めや進行は、子ども役員が推進するよう取り組み、大人は見守り、サポートのみに心がけて取り組んだ。
●但し、子ども会人数が以前より多くなったため子ども役員役割が大きくなりつつある。各学年ごとに代表児童をおくことにより、一人一人が主役となり、活躍の場が増えると思う。

A 2

●子どもたちが積極的に区の行事に参加を希望し、当初年間計画になかった公民館行事にも参加することができた。またPTAとしても公民館行事のお手伝いができ、交流を深めることができた。
●子どもたちが積極的に区の行事に参加したことにより、区全体が明るくにぎやかな良い1年になったと思う。

Q2

一年間お勤めになられての感想

Q3

やってみたかったこと、やってみたいことなど、次年度の会長さん方にアドバイスを

A 3

●公民館花壇に季節の花を植栽し、区民のみなさまの憩いの場に子ども達の育てた花を見て頂けるような活動がしたかった。
●今年度活動を進める中で区民のみなさまからいただいた要望やアドバイスを取り入れて、年間計画の作成をお願いします。

A 1

●「子どもが主役の子ども会」は、どのように育成会行事を活性化していくかにかかっていると思います。子どもの参加人数が多くなり地域で育成をする形、育成会の趣旨を求めれば、必然的に子どもの力（パワー）で「子どもが主役の子ども会」になると思います。

A 2

●初めて育成会長をさせていただきました。仕事をしながら忙しい所もありますが、私自身の子どもを育てていく上でも、私と私の子どもの為に大きな一歩となりました。とても楽しい一年間でした。

A 3

●他地区の行事を見ますと、お寺で座禅会をしているのを見ました。私はただ楽しいだけを求めています。機会があればぜひお寺でのお泊まり会をやりたいです。次年度の会長さんにはぜひ自分自身の一歩として取り組んで頂ければと思います。



A 1

●今は何事にも親が手を出し過ぎて、子ども会が主役の行事が出来ないのが現状です。
自分達の時代は、上級生から引き継がれた伝統があり、例えば三九郎作りから後片付けまで子ども主導で物事を進め、景品の買い出しから配布まで自分達で行い、楽しい思い出として記憶に残っています。時代が変わったとはいえ考えたいものです。敬老会で区のお年寄りとの交流はよかったです。

A 2

●今まで余り子ども達との関わりのないまま育成会の役を引き受けてみたものの、何をやらいいのかわ見当がつかず1年が終わってしまいました。複数年の経験が活かせるような仕組み作りが必要だと思います。

A 3

●茅子連の皆さんのご協力を頂き、上級生の子ども達が主導で、子ども会の運営が出来る仕組み作り等を伝授して頂きたいと思います。例えば、鉦とか鉦等の扱い方等教えていただき、子ども会でも何か自分達が出来ると思わせるような企画をお願いします。

玉川

A 1

●行事に参加していただける様に回覧・連絡網でお知らせし、準備に大人と一緒に参加を促した。
●地域の方々ともっと交流してほしい。

A 2

●役員を中学校副会長が行うということ、地域の方々と交流の少なさを感じた。会議も男性が多く女性が少ないので戸惑うこともありました。

A 3

●子ども達がやってみたい事、意見をよく聞いてみたい。
●地域の事をどう思っているのか（地元を）

宮川2



ちーぼ認識度調査

育成会長さんに、「3人の中で、ちーぼはどれ？」という調査をしたところ、86%の方が正解されました。今後は100%になるよう、みなさんの前に登場していきます！



「ちーぼ」は僕だよ！
みんな覚えてね！

